

令和5年度 卒業年次アンケート分析結果の報告

1. 多くの学類・学科から寄せられた学園全体への意見

【バスに対する課題】

例年のアンケート結果同様、多くの学類・学科から改善を望む声が寄せられている。受験生確保のためにも、学園側に改善をお願いしたい。

(抜粋)

・移転以降の課題、交通アクセスの問題が残されている。1 限時登学時にバスに乗り切れないことは、学びの保障に関わる環境的な不備と捉えられる要件である。(人間文化学類)

・バスのマナー問題解消のためには、常に利用状況を学園として確認していく必要があると思われる。直行便を含めた増便とともに、シルバー人材センター職員の増員を通じた整列乗車の徹底に財源を振り向ける必要がある。地域社会における本学の評価を下げることにより、経済的な損失はさらに大きくなると考える。(人間文化学類)

・バスについては依然として便数が少ないこと、常に混むことに対する不満が多い。また時には混んでいるため乗ることができず授業に遅刻してしまう等の深刻な問題もある。(心理学類)

・スクールバス、新百合ヶ丘からのバス利用者から不便であるといった意見が多く寄せられている。スクールバスについては「高校生の通学時間と重なると、乗れないことがある」、「授業終了時刻に合わせたバスがない」等の意見があった。新百合ヶ丘駅からのバスについても「学生で混雑して地元の方にも申し訳ない、直行便を増やしてほしい」、「授業開始と終了に合わせた直行便がほしい」等の意見が出されている。健康栄養学科は、実習・実験のために、早く登校したり、遅くまで残ったりしているので、勉学に励む学生が通いやすい環境整備を大学側にしていきたい。(健康栄養学科)

・例年、バスや食堂、Wi-Fi に関する意見が見られている通学手段について何等か改善できるとよいのではないかと感じた。(看護学科)

・通学手段、バスの利便性について限界もあるかと思いますが、他学部でも不満を感じている意見が多く検討すべき課題だと感じました。(看護学科)

【キャンパスショップ、学食について】

・バスやショップに関しては、不便な立地にもあるということで、入学生を確保するためには改善が必要だと思います。(看護学科)

・コンビニや自習室の問題は早めに対応してあげたいと思いますが可能なのでしょうか。(看護学科)

・キッチンカーはありますが、学生のお財布事情には合わない気もします。(看護学科)

・「学内唯一のキャンパスショップなのに品揃えが悪い」「最低限のメイク用品(眉ペンシル

など)は置いて欲しい」といった要望があり、重要だと感じた。(人間文化学類)

- ・キャンパスショップの充実度と利便性が低いままである。(心理学類)

- ・教室設備、KOMAJO WiFi、食堂、キャンパスショップの利便性の項目が、全学の結果に比べて非常に低い。スクールバス(ダイヤ増便/混む時間の増便/運転が荒い)、食堂(味/メニュー)、コンビニ(開館時間/ごはん系)に対して改善を望む声が多くあった。ソフト面の改善ももちろんであるが、学生が安心して生き活きと過ごせる居場所としてのキャンパス空間となるよう、段階的なリニューアル計画を進めていただきたい。(住空間デザイン学類)

【PC、携帯電話充電について】

「殆どの都内大学では携帯などの充電器利用が許可され、むしろ充電器の貸出や充電コーナーまで設置されている。この大学では授業で携帯を使うにも関わらず原則学内充電禁止で現代に則しておらず驚いた」との意見は的を射ていると思う。オープンキャンパスなどでも来場者が教室の「充電禁止」の掲示を注意して見ているのを見かける。充電可能なコーナーを早急に作るべきである。(人間文化学類)

【Wifi 環境について】

- ・Wifi に関しては、ほとんどの学類・学科から不満が多くみられたが、令和6年度からWifiの環境が整い、満足度が上がることが期待される。

【クラブ・委員会・同好会活動の再活性化について】

- ・コロナ禍で停滞してしまったクラブ・委員会・同好会活動の再活性化への努力が必要と思われる。(人間文化学類)

- ・学生生活を彩る学外活動やクラブ・同好会・委員会等の充実度が低いことが気になる。(心理学類)

→学生支援委員会へ結果を共有する。

2. 今後の改善結果についての要望

【アンケート結果に対する改善報告について】

卒業生、在学生、受験生にわかりやすく改善結果を発信していただきたい。

- ・4年間の学生生活全体を振り返ったアンケートであるにもかかわらず、学園からの迅速で明確な回答が得られていない状況にある。ホームページを通じて、在学生のみならず卒業生にも改善状況を報告していくことが強く望まれる。(人間文化学類)

- ・「自分たちに続く後輩のために」、卒業生の意見が確実にその後の駒女のキャンパスライフに活かされるようになればアンケートの意義が高まるのではないかと感じる。(心理学類)